

講義科目名称： 母性看護学援助論 I

授業コード： 6630300200

英文科目名称： Advanced Nursing Maternal-Infant I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択 助産師必修
担当教員			
◎常盤 洋子			
添付ファイル			
授業種類	【開講】 通年 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎常盤 洋子 【所属】 新潟県立看護大学 【本学の科目区分】 専門分野		
到達目標	母性看護実践に関連する概念の理解を深め、周産期にある女性とその家族への看護を多角的に検討できる。		
授業概要	講義、文献学習、グループ討議、プレゼンテーション等を通して、母性看護の実践者としての基盤形成につながる内容で構成している。		
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：オリエンテーション 学習内容：学習の進め方 備 考：常盤 2-4 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念理解、性と生殖に関わるメンタルヘルスケア 学習内容：リプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義/概念、国際比較、現状と課題、アプローチ法、ドメスティックバイオレンスにおける健康問題とケアシステム 備 考：常盤 5-7 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念理解、性と生殖に関わるメンタルヘルスケア 学習内容：現代家族の現況と課題、家族看護の理論、事例検討 備 考：常盤 8-10 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：周産期におけるメンタルヘルスケア 学習内容：出産体験の臨床的意義・ペリネイタルケア 備 考：常盤 11-13 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：母性看護における倫理的課題の理解 学習内容：看護実践における倫理原則と倫理的意思決定モデルと先行研究や実在事例を用いた検討 備 考：常盤 14-15 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：母性看護実践に関連する理論の活用 学習内容：母性看護の実践、母性看護学・助産学研究への理論の活用 備 考：常盤		
事前・事後学習	適宜、指示する。		
評価方法、評価基準	発表資料と内容 50%、プレゼンテーション 50%で評価する。		
テキスト	適宜紹介します。		
参考図書・資料等	鈴木和子・渡辺裕子『家族看護学 理論と実践』日本看護協会出版会 M・マクゴールドリック他、石川元訳『ジェノグラム（家系図）の臨床』ミネルヴァ書房		
受講、課題、資料配布等のルール	プレゼンテーション資料は授業までに目を通しておけるように事前配布してください。		
教員からのメッセージ	母性看護を深く掘り下げる視点を学修する科目ですので、問題意識をもって取り組むことを期待します。		

オフィスアワー

事前にメール等で調整してください。